学校番号	323

令和３年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校改訂版　古典Ｂ（第一学習社）（古Ｂ 352）						
副教材等	見て覚える　読んで解ける　古文単語 330　新訂版（文英堂）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・基礎的な語彙力や文法の知識を身に付け、古典を正しく読解できるよう励みましょう。
・本文を繰り返し朗読し、古文や漢文の独特のリズムや表現に親しみましょう。
・語句の意味や現代語訳を予習するとともに、授業後には内容を振り返って復習してください。
・作品の背景にある歴史的な出来事や人間関係、また当時の文化等を理解し、内容をより深く味わってください。

２　学習の到達目標

・古典としての古文、漢文を読む能力を養う。
・ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育む。
・古典作品の背景にある歴史的な出来事や人間関係、また当時の文化等を理解し、現代に通じる教訓を学ぶ

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を高め、作品の価値について自ら考察するとともに、我が国の文化の特質や中国の文化との関係について理解を深めようとする。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、ものの見方、感じ方を豊かにしようとする	古典の理解に役立てるため、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	・行動の観察（学習活動への参加姿勢や態度） ・記述の確認（ノート，プリント）	・行動の観察（学習活動への参加姿勢や態度） ・記述の確認及び分析（ノート、プリント等） ・定期考査	・行動の観察（学習活動における発言内容） ・記述の確認（ノート，プリント） ・小テスト ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	d	e		
1	説話	『古今著聞集』 「小式部内侍が大江山の歌の事」	○	◎	○	a: 比較的短い説話を読んで、古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解する。 d: 歴史的仮名遣いと現代仮名遣いの違いを確認する。 e: これまでに学習した説話を振り返り、説話文学の多様性を確認する。	a:行動の観察と確認 d:記述の確認と定期考査 e:小テストと定期考査
	随筆	『方丈記』 「ゆく川の流れ」	○	◎	○	a: 随筆を読んで、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 d: 無常観について理解し、日本文化の特質を考える。 e: 用言の活用や対句的用法について確認する。	a:行動の観察と確認 d:記述の確認と定期考査 e:小テストと定期考査
	歌物語	『大和物語』 「苔の衣」	○	◎	○	a: 比較的短い歌物語を読んで、古文に親しむ。 d: 歌物語における和歌の役割を理解する。	a:行動の観察と確認 d:記述の確認と定期考査 e:小テストと定期考査
	漢文	故事成語 「推敲」 「呉越同舟」	○	◎	○	a: 故事や寓話にこめられた古代中国人のものの見方・考え方を味わう。 d: 漢文を正しく訓読する。 e: 使役・疑問・仮定・感嘆・否定などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。	a:行動の観察と確認 d:記述の確認と定期考査 e:小テストと定期考査
2	漢文	『史記』 「鴻門之会」	○	◎	○	a: 長めの文章を読んで、漢文に親しみを持ち、話の内容を理解する。 d: 登場人物の心情を読み取り、それぞれの思惑を読み取る。 e: 中国における歴史書と歴史の記録について、その特徴を知り、『史記』の文学性と作者司馬遷についての概要を知る。	a:行動の観察と確認 d:記述の確認と定期考査 e:小テストと定期考査

	随筆	『枕草子』 「すさまじきもの」	○	◎	○	a: 随筆を読んで、人間、社会、自然などに対する作者の思想や感情を読み取る。 e: 助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。	a:行動の観察と確認 d:記述の確認と定期考査 e:小テストと定期考査
	作り物語	『源氏物語』 「光る君誕生」 「若紫」	○	◎	○	d: 古語の響きに触れ、流暢に音読する。 e: 敬語の知識を確認し、解釈にいかす。	a:行動の観察と確認 d:記述の確認と定期考査 e:小テストと定期考査
3	歴史物語	『大鏡』 「道長の豪胆」	○	◎	○	a: 史実と歴史物語の相違点に留意し、作品を味わい、登場人物の描かれ方を考える。 e: 敬語の知識を確認し、解釈にいかす。	a:行動の観察と確認 d:記述の確認と定期考査 e:小テストと定期考査
	和歌	『万葉集』 『古今和歌集』 『新古今和歌集』	○	◎	○	a: 和歌の優れた表現に親しむ。 d: 和歌のリズムを味わい、適切に音読する。 e: 和歌の修辞技巧や時代毎のの表現・語法上の特色を理解する。	a:行動の観察と確認 d:記述の確認と定期考査 e:小テストと定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　d:読む能力　　e:知識・理解

（b:話す・聞く能力　および　c:書く能力　は原則、評価の観点に入れないため省略）

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について◎を付けている。